

外来診療担当表

(配布用)

令和6年3月1日より

独立行政法人国立病院機構 兵庫中央病院

診療科	診察室	月	火	水	木	金
内科・消化器内科	2F ⑰	里中 和廣	里中 和廣	—	光永 眞貴	—
内科・消化器内科	2F ⑱	三田 敬二	生天目 侑子	三田 敬二	三田 敬二	三田 敬二
内科・消化器内科	2F ⑮	光永 眞貴	—	安藤 稔	—	安藤 稔
内科・糖尿病内科	2F ⑲	福永 みちる	鴻山 訓一	鴻山 訓一	福永 みちる	鴻山 訓一
内科・糖尿病内科	2F ⑳	担当医(非常勤) (加藤 美有紀)	福永 みちる	島津 浩史	鴻山 訓一	生天目 侑子
内科・呼吸器内科	1F ⑩	藤川 健弥	高木 康行	小林 弘美	小林 弘美	藤川 健弥
内科・脳神経内科	1F ⑧	足立 洋	上月 惇	北 峻志	北 峻志	足立 洋
内科・脳神経内科 骨粗鬆症	1F ⑨	—	西田 勝也	坂下 建人	高木 康行	金星 匡人
脳神経内科	1F ④	河本 邦彦	二村 直伸	三谷 真紀	河本 邦彦	山崎 浩
	1F ⑤	西本 啓介	三谷 真紀	二村 直伸	西本 啓介	安藤 竜起
	1F ⑦	坂下 建人	山崎 浩	安藤 竜起	武中 優	西田 勝也
脳神経内科	2F ⑫	陣内 研二	—	—	陣内 研二	舟川 裕 (第1・3・5週)
循環器内科・呼吸器内科 糖尿病内科	2F ㉑	担当医(非常勤) (循内)	島津(糖内) (第1・3・5週) 小林(呼内) (第2・4週)	担当医(非常勤) (循内)	島津 浩史 (糖内)	—
消化器外科・呼吸器内科	2F ⑬	藤原 英利	担当医(非常勤) (呼吸器内科)	藤原 英利	—	—
呼吸器外科	2F ⑭	—	—	宮本 良文	—	宮本 良文
整形外科	1F ②	富田 佳孝	富田 佳孝	(手術日)	辻本 龍	辻本 龍
脳神経内科	1F ③	—	—	武中 優	—	—
発熱外来(9:00~11:00)	1F多目的室	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
予約制	ものわすれ外来 (13:00~15:00)	1F ⑤	—	(第1・3・5週)山崎 (第2・4週)西田	(第1・2・4・5週)安藤竜 (第3週)坂下	—
	頭痛外来 (14:00~16:00)	1F ⑤	—	—	二村 直伸 (第2・4週)	—
	筋ジス外来 (14:00~15:30)	1F ⑤	—	—	三谷 真紀 (第1・3・5週)	—
	胆石・ヘルニア 静脈瘤外来 (13:30~15:00)	2F ⑬	藤原 英利 (毎週)	—	—	—
	禁煙外来 (14:00~15:00)	1F ⑩	小林 弘美 (毎週)	—	—	—
	1型糖尿病・ 糖尿病肥満外来 (13:30~15:00)	2F ㉑	—	(第1・3週)福永 (第2・4週)生天目 (第5週)鴻山	—	—
特定健康診査	—	—	—	—	—	毎週14:00~

受付時間 8:30~11:00 (ご予約の場合 ~17:00)
 初診の患者様へ 初めて受診される場合は、玄関を入られて左側の受付カウンターにお越し下さい。
 再診の患者様へ 再診の患者様へ

- ・ご予約の場合
 正面玄関受付カウンター前の再診受付機にて、診察券を投入の上、ご予約の診療科の受付をしてください。
 診察は、概ねご予約時間の30分以内を予定しておりますが、当日の診察のすき具合により遅れる場合もありますので、予めご了承ください。
- ・ご予約されていない場合
 正面玄関受付カウンター前の再診受付機にて、診察券を投入の上、ご希望の診療科を選択してください。(受診中の診療科のみ選択可能)。
 診察券がない場合は、その旨お申し出ください。
 なお、前回の診察から3ヶ月以上経過している場合は初診となります(ご予約の場合を除く)。

電話での予約受付について
 電話での予約受付時間は、平日12:00~16:00になります。予約のキャンセルまたは変更がありましたら、前日の上記時間帯までにご連絡
 お願いいたします。(午前中は診察中につき、避けていただきますようご協力ください。)

担当医師の変更について
 諸事情により、上記の担当医師が変更となる場合があります。変更予定は、掲示板にお知らせしておりますので、ご確認ください。

お知らせ 地域医療連携室の外来予約受付時間は下記の通りです。今後ともますますのご利用をお願いいたします。

- 受付時間 : 平日 8:30~19:00 (木曜は17:15まで)
- 内 容 : 診察予約・画像等検査予約
- 連絡先 : TEL 079-563-2121 (代表) 0120-62-2125 (専用電話)
 FAX 079-563-4646



兵庫中央病院

vol.37

地域医療連携室だより

<https://hyogochuo.hosp.go.jp/>



contents

- 新年度のご挨拶
- ♡ハピネスプロジェクト♡
~患者サービス向上を目指して~
- FreeStyle リブレPro®
外来予約受付
- 当院での栄養指導について
- 薬剤部のご紹介
- 外来診療担当表

当院の基本理念

私たちは患者さんに真心のこもった良質で効率的なサイエンス・アート(科学・技と心)の医療の提供を目指します。

1. 私たちは、患者さんの基本的人権を尊重します。
2. 私たちは、質の高い政策医療を推進するとともに、地域医療に貢献します。
3. 私たちは、健康増進や予防医学へ積極的に参画します。
4. 私たちは、多様なニーズに対応できるよう日々研鑽し、医療の安全に努め、患者さんから愛される病院を目指します。
5. 私たちは、経営基盤を強化し、健全な病院経営を行います。

新年度のご挨拶

自然災害、医療を取り巻く様々な変化…そのような中でも地域のみなさまに信頼され安心して受診していただける病院を目指し、励んでまいります



院長 藤原 英利

新しい年2024年が始まりました。

穏やかな新年を迎えたと思う暇もなく、能登半島を地震が襲い、救援に向かう航空機が接触炎上するなど、波乱含みの幕開けとなりました。被災されました皆さまには心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日でも早い復興をお祈りいたします。

先の見通せない2024年はパリオリンピック・パラリンピックの年になります、TOKYO 2020から4年です。コロナの感染で世界中がパニックになり、その騒動のさなか1年延期して何とか無観客で行われた東京オリンピックも前回大会となる年です。本当に新型コロナウイルスのパンデミックで世界が大きく変わった4年間でした。その新型コロナもワクチンの接種、治療薬の開発などで、昨年5月に5類に引き下げられました。小さな感染の波はあるものの徐々にいろいろな規制が緩和されて、日常に落ち着きを取り戻しつつあるこの頃です。

私たち兵庫中央病院も国の制度の見直しにより昨年認定された、「紹介重点医療機関」としての本格稼働が始まります。「医療資源を重点的に活用する外来」を地域で基幹的に担う医療機関を認定するという

方針によるものです。患者さんがまず地域の「かかりつけ医機能を担う医療機関」を受診し、必要に応じて紹介を受けて紹介受診重点医療機関を受診する、その後状態が落ち着いたら逆紹介を受けて地域に戻る、といった受診の流れを明確にするのが目的のようです。ただ、当院への受診患者さんにとっては紹介状をお持ちでない場合は今まで以上の経済的負担をお願いすることになりますので、是非とも紹介状を持っての受診をお願いするしだいです。

もう一つ2024年は診療・介護報酬改定の年となります。円安やウクライナやイスラエルの軍事紛争の影響で電気、ガスなどの光熱費、小麦、石油製品、半導体などの高騰で診療経費の圧迫が続いています。働き方改革の影響や政府の方針もあり人件費の高騰も避けられない現状です。なんとか本体部分のプラス改定にはなりそうですが、なかなか厳しい医療経済が続きます。

災害はお正月だといって待つはくれませんでした。災害はおこるものと再認識して対応できる体制を構築できるように、日々の診療に励みたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

♡ハピネスプロジェクト♡ ～患者サービス向上を目指して～

看護広報委員会

新型コロナウイルス感染症の影響により、入院患者さんは感染予防対策からご家族との面会が禁止、制限のある環境での入院生活が長期化しています。そこで、刺激の少ない入院療養生活を『少しでも楽しみや喜びにつながる支援ができないか』と患者サービスを目標に看護広報活動に取り組みました。



～フードハピネスプロジェクト 第1弾～

患者さんの『最後にこれを食べたい!!』と長年の思いを叶えるために、プロの料理人をお招きし、お寿司や天ぷらといった和食をメインに嚥下食を作っていただく催しを開催。筋ジストロフィー病棟の入院患者さんを中心に提供!! (5月23日開催)



～フードハピネスプロジェクト 第2弾～

嚥下機能の低下した患者さんが『おやつが食べたい』と希望され、介護食・嚥下食の出張料理をされている専門家をお招きし、デザートバイキング形式のティータイムを企画、筋ジストロフィー病棟や神経難病病棟の患者さんを中心に提供!! (11月1日開催)



～クラシックギターコンサート～

2部制で、ギターリスト2名をお招きし心温まる音楽を奏でいただきました。患者さんの表情は自然と笑顔に変わり、安らぎを感じるひと時となりました。(12月26日開催)



外来棟で



訓練棟で

これからも長期入院されている患者さんにとって、笑顔があふれ、楽しんでいただける活動を企画し、サービス向上にむけた取り組みを行っていきたく思っています。

～FreeStyle リブレPro® 外来予約受付～

地域医療連携室 看護師長 杉本 さおり

兵庫中央病院は2022年1月に糖尿病センターを開設、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士の多職種で連携をとりながら、患者さんが在宅で円滑に生活を送っていただけるように「糖尿病専門医や糖尿病療養指導士による外来インスリン導入やインスリンポンプ療法」や「管理栄養士による栄養指導や食生活の相談」などチームでサポートしています。今回、患者さんにとってよりいっそう苦痛なく簡単にデータを把握することができる「FreeStyle リブレPro®」が2016年より導入されました。

FreeStyle リブレPro® って何??

其の壹 検査対象者は・・・

- ★インスリン注射をされている・されていないに関係なく糖尿病と診断されている患者さん
- ★血糖値が不安定な患者さん

其の貳 検査方法は・・・

検査予約日に来院していただき、上腕に直径35mmセンサーを貼布します。
貼布後、15分毎の血糖値が自動的に記録され、1日の血糖値の変動が簡単に分かります。
最長14日間、持続的に血糖値を測定します。
(センサーが貼ってある腕をこすことは控えていただきますが、お風呂には入っていただけます)

其の参

センサーを取り外しに来院された時に、その場で結果をお渡しできます。

其の四

自己血糖測定は不要ですので患者さんの負担は軽減できます。



予約方法

糖尿病の患者さんをご紹介いただけます場合は、診療依頼書に必要事項をご記入の上、診療情報提供書と共に地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
FAXでの受付は随時対応いたします。時間外(週末)に受け付けたものは翌日(週明け)対応となりますのでご了承ください。
なお、検査についてご不明な点がございましたら、地域医療連携室にいつでもご連絡ください。

現在、2ヶ月に1回『フローラ88』で開催しております
出張保健室では『FreeStyleリブレPro®』のご案内をしております。



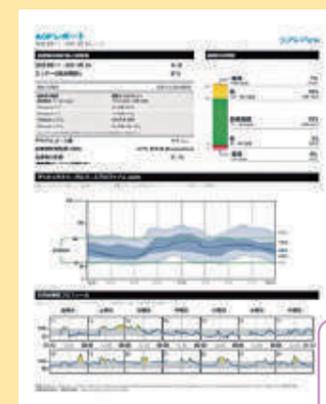
当院での栄養指導について

栄養管理室 國安 里衣

当院では、食事療法が必要な方に対して管理栄養士が外来・入院患者ともに栄養指導を行っています。
外来では糖尿病内科の患者さんを主としていますが、他にも呼吸器内科や消化器内科の患者さんなども対象に指導を行っています。特に糖尿病内科の患者さんへの外来栄養指導では、今後の医療で必要となる「血糖管理のDX化(Digital Transformation)」に向けて様々な指導媒体を導入しています。

FreeStyleリブレや FreeStyleリブレpro、シンクヘルスアプリなどを用いて、患者さんが入力・同期したデータを主治医や看護師と情報共有し、食生活の改善を通じて良好な血糖コントロールを目指しています。

FreeStyleリブレ FreeStyleリブレpro



AGP (Ambulatory Glucose Profile) レポートと患者さんに記載してもらった食事記録を用いて血糖変動を確認しています。

シンクヘルス アプリ



患者さんにアプリをダウンロードしてもらい、同意を得て病院と連携しています。管理栄養士は日毎の実際の食事記録(写真)や血糖値、インスリン注射の有無・単位数なども確認した上で、指導を行っています。実際の食事写真があるため、効率よく栄養指導を行うことができます。



外来栄養指導には管理栄養士6名が従事し、指導室は3部屋完備しています。糖尿病患者さんの過半数の方が継続で指導を受けられています。



詳細なグルコースデータの入手・解析をより簡便に

FreeStyleリブレProシステム

センサー(使い捨て)

直径35mm 厚さ5mm

出荷時校正済、使用時の血糖自己測定による校正は必要ありません。

- 最長14日間、持続的に測定し、15分毎にグルコース値を自動的に記録
- 耐水性[※]で、患者さんがアクティブな生活を送れるよう設計

※水深1メートルで最長30分間の耐水性試験を実施済みです。

Reader

1台のReaderで複数の患者さんに使用可能。

- 14日分の測定結果の読み取り時間は約5秒かかります

最長14日間、信頼性の高い血糖プロフィールを得るための3ステップ

- 1 装着**

上腕後部にFreeStyleリブレProセンサーを貼りつけ、起動します。

●装着、起動は非常に簡単です。
- 2 データ読み取り**

センサーをReaderでスキャンし、グルコース値の測定結果を読み取ります。
- 3 レポート作成**

ReaderをPCに接続し[※]FreeStyleリブレProソフトウェアでレポートを作成します。

※付属のUSBケーブル経由

隠れていた高血糖、低血糖を把握できるグルコース変動レポート

HbA1c

過去1~2か月間の平均血糖値を反映

SMBG

測定した時点の血糖値のみ把握

AGP[®]

グルコースプロフィールをわかりやすく表示

FreeStyleリブレProソフトウェアを活用することで、14日間にわたる日中および夜間のグルコース変動レポートを簡単に作成することができます。

※Ambulatory Glucose Profile

ケースレポート

推奨A1c 8.2%, or 66 mmol/mol

【患者背景】
 64歳、女性、2型糖尿病
 ・罹病期間 11年 ・メトホルミン 1000mg/日(分2)
 ・HbA1c 8.5% ・グルコース値の目標範囲
 ・基礎インスリン 8単位 ・70~170mg/dL
※レポート説明のための仮想症例

- Q グルコース値は目標範囲内にありますか？**

A ほとんどが目標値より上です。
- Q グルコース値の日内変動はありますか？**

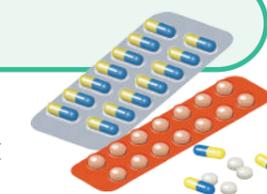
A 日中の中央値曲線は比較的平坦ですが、夜間から朝方にかけてのグルコース変動が大きいことがわかります。
- Q 低グルコースのリスクはありますか？**

A 10パーセンタイル値(下の薄い青色で示した範囲の下部)が目標値より下であり、朝から昼にかけて、夕方に低グルコースのリスクがあります。
- Q グルコース値の日差変動はありますか？**

A 25~75パーセンタイル(濃い青色で示した範囲)が24時間を通じて幅広く、低グルコースおよび高グルコースのリスクがあることが示されます。

薬剤部のご紹介

副薬剤部長 松井 尚美



当院は、セーフティーネット系医療(神経・筋難病・筋ジストロフィー、重症心身障害、結核など一般病院では治療継続が困難な疾患)を中心に医療を提供しており、専門医療を行う拠点病院です。また、認知症センター、消化器センター、糖尿病センターを開設し、外科系(消化器、呼吸器、整形)の医療にも重点を置き、地域医療・高齢者医療に積極的に取り組んでいます。

薬剤部は、全ての病棟において薬剤管理指導業務を実施し、一般病棟(2病棟)と結核病棟(1病棟)では薬剤師が常駐し、薬歴の管理、薬剤の投与量や投与方法、相互作用、配合変化等の確認、薬剤の投与設計、他職種からの相談応需等々、多岐にわたる病棟業務を行い薬物療法に参画しています。

チーム医療

ICT(感染制御チーム)、AST(抗菌薬適正使用支援チーム)に参画し、AMR(薬剤耐性)対策に積極的に取り組んでいます。また、NST(栄養サポートチーム)、褥瘡ケア、認知症ケア、DOTSカンファ等、他職種で患者様に係わり積極的な意見交換を行うことで、安心安全で質の高い医療の提供に努めています。更に、糖尿病チームでは、教育入院をはじめ、地域の患者様も参加できる糖尿病教室を月1回開催し、地域の方々の健康増進を応援しています。

タスクシフト

2023年3月に電子カルテの更新を行いました。これに伴い、部門システムの更新と錠剤自動分包機やアンプルピッカーといった調剤機器も新しく入れ替わりました。また、ソフトの更新や部内の運用を見直し、業務の効率化を図りました。

また、2023年11月に一包化錠剤仕分装置(タブソート)を導入しました。これは、一包化された薬剤を自動で仕分ける装置です。

神経難病で服用時間が細分化されている患者様や、数種類のお薬を服用される患者様が間違いなく服用するためには、一包化が必須となってきます。医療経済を考慮し、安全な薬物治療を行うための一助になると思います。

散薬調剤ロボットをはじめ調剤機器の導入によりマンパワーを確保し、また、タスクシフトの提案で、薬剤師が患者様に寄り添い力を発揮できるよう努めています。

アンプルピッカー

散薬調剤ロボット

一包化の薬

タブソート

薬剤毎に分別